



御前崎市消防団の団長に就任

やまもと みつひと

山本光人 さん

PROFILE

やまもと みつひと(桜ヶ池・43)
本年4月から御前崎市消防団団長に就任。
平成30年度には静岡県消防協会会長勤続功
労章(10年)を受章している。

仕事も消防も一生懸命に

平常時・緊急時を問わず地域密着で住民の安心と安全を守るという重要な役割を担う消防団。地域の消防・防災のリーダーとしても活躍する。現在、市消防団には307人が在籍している。

本年4月から新たに山本光人さんが団長に就任した。山本団長は「地域や今までお世話になった人へ恩返しするつもりで団長の任務に当たっています」と話す。

山本団長は平成15年4月に消防団へ入団。分団長などを務めたのち、平成26年度から副団長として団長を支えてきた。穏やかな人柄でいつも冷静。全体を的確に指示を出す姿が印象的と団員は話す。そんな山本団長には消防団活動に取り組む上で大切にしていることがあるという。

「私自身、仕事も消防団活動も一生懸命取り組むことが大事だと思っています。有事の際はもちろんのこと、仕事を休んでも団の活動を優先しなくてはならない時があります。でも、後で振り返ってみると仕事と私生活の中で消

防団の活動が役に立ったなど感じる人が多いんです。団員にも一生懸命取り組んでもらいたいと思っています」。

有事に備え日々取り組み

現在、団員確保が深刻な問題となっている消防団。欠員が生じている分団もあり、機能別団員と呼ばれる有事の際のみ出動する団員制度も本年度から導入された。団員不足となると出動できる団員が減るほか、一人一人の負担が増えてしまうという。

こうした状況下でも「火事や災害が発生した時に、地域のために力を発揮するのが消防団です。常に準備しておけると言われていると思います」日々取り組んでいます」と山本団長は言う。さらに「家庭やプライベートの時間を取りたい中でも、地域のために消防団へ入団してくれた団員が、活動しやすい環境にしたいと考えています。事故ゼロ、団員は絶対けがをさせたいはならないいつも考えています」と続けた。

災害が多発する日本。山本団長が先頭に立ち、わがまちの安心と安全を守っていく。

